

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 3 区分
【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2010-144958(P2010-144958A)
【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)
【年通号数】公開・登録公報2010-026
【出願番号】特願2008-320276(P2008-320276)
【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 1 0 2 S

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月12日(2010.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも冷媒を圧縮する圧縮機、室外に設けられる室外側熱交換器、高圧の液冷媒を低圧の二相冷媒に減圧する減圧装置及び室内に設けられる室内側熱交換器を有する冷凍サイクルと、

前記室内側熱交換器に送風を行う室内ファンと、

前記室内側熱交換器の温度を検出する室内側熱交換器温度検出部と、

室内空気温度を検出する室内空気温度検出部と、

前記室内空気温度検出部が検出する前記室内空気温度と、設定された設定温度とに基づいて、少なくとも前記圧縮機及び前記室内ファンの制御を行う制御装置と、を備え、

前記制御装置は、当該空気調和機の運転中に前記圧縮機を停止した場合、前記室内ファンの運転を継続し、前記室内側熱交換器温度検出部が検出する前記室内側熱交換器の温度と、前記室内空気温度検出部が検出する前記室内空気温度との温度差が所定値以下になった時点で前記室内ファンを停止することを特徴とする空気調和機。

【請求項 2】

前記制御装置は、当該空気調和機の運転中に前記圧縮機を停止し、さらに前記室内ファンを停止した後、前記室内ファンを定期的に所定時間運転することを特徴とする請求項 1 記載の空気調和機。

【請求項 3】

当該空気調和機の運転中に前記圧縮機を停止した後の前記室内ファンの運転は、当該空気調和機の前記制御装置により前記室内ファンに設定されている最低の回転数で運転されることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の空気調和機。